

2022年9月12日
〈プレスリリース資料〉

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州

「アララクアラ障害者を支える親と友の会リハビリ器具整備及び施設改修計画」に係る
草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約の署名について

在サンパウロ日本国総領事館

9月9日(金)、在サンパウロ日本国総領事館とアララクアラ障害者を支える親と友の会との間で、「アララクアラ障害者を支える親と友の会リハビリ器具整備及び施設改修計画」に係る草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約の署名を行いました。

- 1 アラクアラ障害者を支える親と友の会は、サンパウロ州アララクアラ市において障害者支援施設を運営し、知的障害者(身体障害も併せ持つ者を含む)や、自閉症スペクトラム障害を持つ利用者を無料で受入れ、基礎教育やリハビリ、社会行動教育、就業支援を行う支援施設を運営しています。同施設のリハビリ器具の不足や老朽化及び身体障害者用トイレや食堂・調理場の床の改修が喫急の課題となっております。
- 2 当館は、同施設のリハビリテーションの質及び安全性の向上のため、同施設のリハビリ器具の整備及び施設改修に対し、43, 895米ドルを限度に無償資金協力を行うことを決定しました。
- 3 本件により、社会的弱者である貧困層の障害を持つ児童、青少年及び成人の生活の質の向上を図り、我が国が推進する人間の安全保障の実現に貢献することが期待されています。

【参考】案件の基本情報

案件名: アラクアラ障害者を支える親と友の会リハビリ器具整備及び施設改修計画

被供与団体: アラクアラ障害者を支える親と友の会

プロジェクト実施地: サンパウロ州アララクアラ市

契約書署名日: 2022年9月9日

供与限度額: 43, 895米ドル

供与品目: 障害者支援施設のリハビリ器具整備と身体障害者用トイレ、食堂及び調理場の床の改修

(問合せ先) 在サンパウロ日本国総領事館経済班 (0xx11)3254-0100